

別紙添付②

TOTAL P.01

<御堂筋フロントタワーにかかわる三菱地所と貴社間のトラブルについて>

数ヶ月前、貴社のホームページを拝見してからこの件に関心をもっています。

日本を代表する三菱地所という一流会社がホームページに記述されているような不誠実な対応と手段をとっているのであれば、それは現在三菱地所を信頼し取引している多くの人々を裏切ることを意味し、今後同じようなトラブルを出さないためにも、事実を広く公にして多くの人々の知るところにすべきと考えるからです。

そうしなければ三菱地所という会社の風土は変わらないでしょう。

実際、三菱地所はたしか数年前に総会屋利益供与事件や大阪アメニティパークの土壤汚染問題などがあり、コンプライアンスへの取り組みを強化することを公言していました。それにもかかわらず、問題ある行為が今でもあるとしたら、コンプライアンスへの取り組みや会社の行動憲章は聞こえの良い単なるポーズということになります。

ただ、せっかく誰でも見ることのできる貴社のホームページに出ている情報なのですが、貴社と三菱地所とのトラブルの本質の部分がわかりにくいです。

約5年にわたる期間にさまざまな紆余曲折があったのはよくわかるのですが、もっとシンプルにトラブルの本質—当初計画されていたプロジェクトの形、資金計画と負担割合、それが計画通りにいかなかった理由、なぜトラブルがありながらビルの完成までプロジェクトが進んだのか、基本合意書の合意に基づいて進められたはずのプロジェクトで誰がどのような契約違反の行為をしたのか、などを知りたいです。

トラブルの本質は、“特別目的会社の偽装破産の疑い”ではなく、“御堂筋フロントタワーがビルの完成にもかかわらずなぜ開業できていないのか、その責任は誰にあるのか”だと思います。その点がわかると詳細な経緯の部分がわかりやすくなります。

よろしく願いいたします。